

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月29日

計画の名称	宇都宮市における安全で快適な緑の保全と創出												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	宇都宮市												
計画の目標	安全・快適で緑豊かな都市空間の実現に向け、市民が身近な自然とふれあい、憩える環境づくりを進めるため、緑地・樹林地等の保全・育成を図る。また、地域のコミュニティ形成の場となる緑の拠点づくりを推進するため、緑の量を増大させるとともに、既存ストックを有効活用しながら質の向上も図り、市民に親しまれる魅力ある緑の創出を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,782	A	1,769	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.72	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	H31までに、都市公園面積23,000㎡の増加を目指す。 都市公園面積の増加。 都市公園供用開始の告示を行った公園を対象。	551ha	553ha	553ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	—	—	都市公園事業（鶴田沼緑地）	緑地保全 A=211,000㎡	宇都宮市	■	■	■	■	■	1,656	—	
	A12-002	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	—	—	都市公園事業（戸祭山緑地）	公園整備 A=23,000㎡	宇都宮市	■	■				113	—	
												小計						1,769	
											合計						1,769		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（景観みどり課）にて評価を実施	令和2年度（繰越工事終了後）
	公表の方法 宇都宮市HPにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 戸祭山緑地の整備が完了したことなどにより都市公園の面積が増加し、美しく潤いのある都市空間と市民に親しまれる魅力ある緑を創出することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 戸祭山緑地の供用開始により、市民の憩いの散策路コースとして幅広い世代に有効に活用されており、自然環境学習の場として保育園、小学校、地域団体等への活用が図られている。 平成20年度より開始した「もったいないの森長岡植樹事業」において、市民参加のイベント形式による植樹祭を開催し、市民に対し、森や緑の存在や役割、緑を守り育てることの大切さを考える機会を提供することができた。

○特記事項（今後の方針等）

市街化区域に残る貴重な緑の保全・活用を図るため、引き続き用地取得や緑地整備を行い、市民が身近に自然と触れ合える魅力ある緑の創出を目指す。
--

